

図書館だより 12月号

川之石高校図書委員会



いよいよ冬休みです。クリスマス・お正月と、イベントの多い時期ですが、時間を見つけて、何か1冊本を読んでみませんか？3学期になると、3年次生はすぐに最後の考査となります。この長期休業中にぜひ本を読みましょう。補習の期間中は図書室も開いていますので、学習に利用してください。



放課後も図書室で勉強しています。

〔新任の先生より〕

「読書のすすめ」



英語科 平田 好正 先生

川之石高校では、「朝の読書」の時間が設定されています。みなさんは読書を楽しんでいますか。どのような本を読んでいるのでしょうか。私が高校生のころは「朝の読書」の時間はありませんでした。また、英語の授業にALTが参加することはありませんでした。昭和、平成、令和と時が流れ、世の中も学校生活も変化しています。

ずいぶん昔のことになりますが、私が小学生のころは学校の図書館で本を借りて帰り、家で読書することが好きでした。数十年の時が流れ、現在の私はというと、自分の時間を楽しみたい、自分の世界を広げたいという思いから話題となっている本を購入して読むことにしています。読書家や「本の虫」というレベルには全く達していません。芥川賞、直木賞や本屋大賞などを受賞した本に惹かれてしまいます。そんな私の印象に残っている本に、恩田陸さんの『蜜蜂と遠雷』があります。（読んだことや見たことはありますか。）私は授業以外で音楽にかかわったことはありませんが、気がつけば500ページにおよぶピアノコンクールの世界に引き込まれていました。俳優の松坂桃李さんが主演の一人である映画も制作され、先日、BSでのテレビ放送もありました。そのテレビ放送を観ましたが、私は本のほうが想像力をかきたてられ、充実感がありました。読破するのに時間がかかったけれど本の良さを実感することができました。

もう一冊あります。我が家では柴犬を飼っていますが、馳星周さんの『少年と犬』もそのタイトルから興味がわき読み通しました。最後に「おー、そうだったか。」という結末で感動しました。さあ、川之石高校のみなさん読書を楽しみましょう。「朝の読書」の時間は短いけれど、家でも本を読む時間はあります。おもしろかった本や感動した本を私に紹介してください。そしていつか読書談議に花を咲かせましょう。

〔新刊図書を紹介〕

『「羅生門」55の論点』（三宅 義藏 著）



川高生全員が国語の授業で読んだ『羅生門』。この芥川龍之介の名短編を55の論点を立てて徹底的に考察し、次のような論点でわかりやすく整理し、丁寧に解説しています。

- 論点「暮れ方から物語が始まるのは、なぜか。」
- 論点「『にきび』が何度も出てくるのは、なぜか。」
- 論点「『六分の恐怖と四分の好奇心』とはどのようなものか。」
- 論点「老婆の行為を『許すべからざる悪』と思ったのはなぜか。」 等

『自分の気持ちがわからない沼から抜け出したい』（田中 よしこ 著）

「自分のことがわからない」「好きになれない」ことは苦しく、沼にはまるようなもの、と著者は言います。この本は、「自分見失いがち沼」「やりたいことがやれない沼」など、さまざまな悩みの「沼」から抜け出す方法を紹介しています。自己肯定感を高めながら解消する方法をアドバイスする1冊です。



- 第1章 あなたは「わたし」が好きですか？ 自分編
- 第2章 あなたの「価値の基準」は何ですか？ お金と時間編
- 第3章 誰かに言われたことで悩んでいませんか？ 人間関係編
- 第4章 わがままに自由に生きてみませんか？ 仕事編
- 第5章 あなたは誰が一番好きですか？ 恋愛・結婚編

〔11月 月間図書貸出冊数〕

〈クラス別〉

11月1日～11月30日

1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	合計
0冊	0冊	5冊	12冊	3冊	16冊	8冊	13冊	8冊	65冊

〈個人別〉

- 1位 11冊 清水 美愛（2-3）
- 2位 7冊 清水 英磨（2-1）
- 3位 5冊 山内 悠司（1-3）



「あなたが絶対に知るべき唯一のものとは、図書館の場所である。」

アルベルト・アインシュタイン
（ドイツの物理学者／1879～1955）